

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-172	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	英Ⅱ317	NEW FAVORITE English Expression II		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材を育成するために、以下のことに留意しています。

- ① コミュニケーションを図ろうとする意欲を引き出し、自分の考えや意見を積極的に発信できる生徒を育成する。
- ② 事実や意見などを多用な観点から考察し、様々な話題や場面、伝える相手や目的に応じて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
- ③ インプットからアウトプットへと活動がスムーズに繋がるよう紙面構成を工夫し、実践的なコミュニケーション能力を養う。

2. 編修の基本方針

基本方針

1

コミュニケーションを図ろうとする意欲を引き出し、自分の考えや意見を積極的に発信できる生徒を育成する。

- ・ Lesson冒頭に目標を示すことで、ゴールを見据えて学習できるようにしました。
- ・ Lessonのトピックは、Iで学習したことをさらに深め、自分の身の周りのこと、時事問題などの現代的課題について発信するテーマを選定しました。
- ・ LessonのYour Turnは、自分の考えや意見を自由に書いて、それに関して意見などを交換する形式にしました。

基本方針

2

事実や意見などを多用な観点から考察し、様々な話題や場面、伝える相手や目的に応じて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

- ・ LessonのTargetでは、様々な場面や表現形式に触れられるようにしました。Part 2以降のLessonでは、様々なパラグラフの構成や、スピーチ、プレゼンテーション、ディベートのスキルなどを身につけられるように配慮しました。
- ・ LessonのYour Turnは、設問の指示に従って活動を行うことで、論理展開の基本が身につくように配慮しました。また、語彙力の少ない生徒にも学習できるようにTool Boxを設けました。さらに、ペアやグループ活動を多く設け、互いの意見を交換し、学び合う協働学習ができるようにしました。

基本方針

3

インプットからアウトプットへと活動がスムーズに繋がるよう紙面構成を工夫し、実践的なコミュニケーション能力を養う。

- ・ Lessonではインプットからアウトプットへ無理なく繋がるよう、両者のバランスを配慮し、左ページではTargetを中心とする文法の導入、右ページでは練習問題及びコミュニケーション活動という構成にしました。
- ・ 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、単なる文法学習に始終しないよう、それを使ってアウトプットする活動(Your Turn)を用意しました。

3. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson	<ul style="list-style-type: none"> ① 異文化理解を促す題材や自分・地域・日本のことを発信する言語活動を通して、文化によって異なる発想や考え方、文化を越えて共通する発想や考え方に触れさせます。(第1号) ② 様々な題材を扱い、話題や場面、相手に応じて論理的、効果的に伝える方法を学ぶことで、幅広い知識と論理的な思考力を養います。(第1号) ③ 英語と日本語の異なる特色に気づかせることで、自らの言語や文化を見つめ直し、異文化を理解しようとする態度を養成するきっかけを与えます。(第1号) ④ 言語活動を通して、他人の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションできる態度を養います。(第2号) ⑤ ペアやグループで協力して行う言語活動を豊富に用意することによって、自他を大切にし、協力し合う心を育みます。(第3号) ⑥ 環境問題について考える題材および身近なことから改善策を提案させる言語活動を通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います(第4号) ⑦ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、自国の伝統や文化について知り、それらを他国に向けて発信する力を養います。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各 Lesson の Target, Focus, Your Turn など ② 各 Lesson の Target, および Your Turn など ③ 各 Lesson の Target, Focus, Grammar Alert など ④ 各 Lesson の Your Turn など ⑤ 各 Lesson の Your Turn など ⑥ Lesson 11, Lesson 18 など ⑦ Lesson 11, Lesson 12, Lesson 13, Lesson 19, など
そのほかのページ	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語の品詞や文の構造の基本、正しく英文を書くためのコツなどの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号) ② 英語での Eメールの書き方や住所の書き方を学ぶことで、他国の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① Bridge Lesson, Expression Workshop 4 など ② pp.141-143 など
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ① グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 ② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① Lesson全般 ② Lesson 11, Lesson 12, Lesson 13, Lesson 19 など

②学習指導要領の遵守	<p>①Lessonの学習を通して様々な場面に触れ、相手や目的に応じて論理展開や表現方法を工夫しながら伝える能力を養えるよう、題材や練習問題が選択・配列されています。</p> <p>②文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、生徒が学習したことを実践的に使うコミュニケーション活動を豊富に用意しています。</p>	<p>①Lesson全般</p> <p>②LessonのYour Turnなど</p>
③内容・配列・分量	<p>①LessonのTarget文や例文の難易度、学習項目の難易度はLessonが進むごとにゆるやかに上がるようになっており、無理なく英語力を向上させることができます。</p> <p>②各Lessonは、写真あるいはイラストとQ&Aによる導入、モデル文の学習、言語材料の学習、練習問題、コミュニケーション活動の順に編集されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p>	<p>①Lesson全般</p> <p>②Lesson全般</p>
④評価 (CAN-DO)	<p>各Lessonの冒頭にLessonの目標を明示しました。Your Turnでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の達成度を確認することができます。</p>	Lesson全般
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①各LessonのWarm Up! (写真を使った英語による質問) を使って、英語で授業の導入ができます。</p> <p>②各LessonのTarget文や例文には巻末に和訳がついており、訳に時間を取られず音読活動やコミュニケーション活動に時間を十分使うことができます。</p> <p>③各LessonのYour TurnはALT等を活用した英語による言語活動がしやすい構成になっています。</p>	<p>①各LessonのWarm Up!</p> <p>②各LessonのTarget</p> <p>③各LessonのYour Turn</p>
⑥英語表現Iとの関わり	<p>英語表現Iからのスムーズな接続のために、Bridge Lessonを設けています。</p>	Bridge Lesson
⑦伝統・文化の取り上げ方	<p>①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、自国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すことができます。</p> <p>②言語を文化の重要な要素ととらえ、英語特有の文構造や表現、コミュニケーション方法などの学習を通して、英語とは異なる日本語の特性などに気づきを与えます。</p>	<p>①Lesson 11, Lesson 12, Lesson 13, Lesson 19 など</p> <p>②各LessonのFocus, Grammar Alert など</p>
⑧自然科学の取り上げ方	<p>特殊な語彙や表現による負担に配慮して、外国語科にふさわしい意味のある切り口で題材選定をしています。</p>	Lesson 15など
⑨家庭学習・自学自習への配慮	<p>①自学自習できるコラムを豊富に設けています。</p> <p>②巻末資料にExpression Park (補充表現集) 等、生徒の自学自習に役立つ資料を用意しています。</p>	<p>①各LessonのGrammar Alert!, Taking about talking! など</p> <p>②pp.119-139</p>
⑩文字・印刷・製本	<p>①活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。</p> <p>②製本は堅牢で、開きやすい様式です。</p> <p>③図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。</p>	<p>①全体</p> <p>②全体</p> <p>③全体</p>

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-172	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	英Ⅱ317	NEW FAVORITE English Expression II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 全体構成

3 Part 8 Unit 構成とし、Part 1 ではより高度な文法事項、Part 2 では Writing、Part 3 ではスピーチ、プレゼンテーション、ディベートを扱っています。

2. Classroom English

授業を英語で行う際に、生徒が参照できるように授業で使える英語表現をまとめました。

3. Bridge Lesson

英語表現Ⅰからの接続がスムーズに行えるよう、Ⅰで扱った英語の基本的なルール（名詞、冠詞、代名詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞）を復習するページを設けました。

4. Lesson

a. Warm Up! (Part 1)

Target の内容に関連する写真あるいはイラストと Q&A を配置し、クラス全体、ペアやグループで話し合うことでスキーマを活性化しつつ、Target の内容への興味関心を高められるようにしました。

b. Target

会話、日記、広告、記事、プレゼンテーション、スピーチなど実生活における様々な場面やそこで用いられる表現形式に触れられるようにしました。Target の和訳を巻末に設けて参照できるようにすることで、文法訳読指導になることを防ぎ、音読練習や暗唱などに取り組む時間を確保して、表現を実際に使えるレベルまで定着させられるよう工夫しました。

c. Focus

Target から、英語で表現する際に役立つ文構造・文法事項を取り出し、実際に活用する際のモデルとなる例文とともに示しました (Part 1)。また、Part 2 以降では、Target の文

章の論理構造や、実際に英語で表現する際の基本的な知識を解説しています。

d. Grammar Alert! (Part 1)

Focus で学習した内容に関して、生徒がつまづきやすいポイントや日本語と英語の表現の違い、似たような英語表現のニュアンスの違いなどを Q&A 形式で取り上げ、理解を深められるようにしました。

e. Exercises

Focus で学習した表現を、実際に使えるようにするためのトレーニングの場としました。無理なく学習できるよう、Exercise A から C へと、難易度が段階的に上がるように問題を配置しました。また、解答を音読する指示を入れ、単なる答え合わせにとどまらず、学習した表現が実際に使えるレベルに定着するよう工夫しています。

f. Your Turn

Target や Focus で学習した表現を使って行う表現活動を用意しました。場面設定や伝える相手、目的を具体的にすることで、生徒の表現活動への意欲を高めるとともに、実生活で応用できるよう工夫しました。また、無理なく表現活動に取り組めるよう Tool Box (表現例) を該当ページおよび巻末に設け、生徒が参照できるようにしました。さらに、ペアやグループ活動を設け、互いの意見を交換したり発表したりして、学び合う協働学習ができるようになっています。

g. Expressions (Part 2)

パラグラフを書く際に役立つディスコースマーカーをまとめました。

h. Expansion (Part 2)

Target で扱ったパラグラフを、複数のパラグラフからなるエッセイに発展させたモデル文です。右側に各パラグラフの基本構造とポイントをまとめ、エッセイの論理構造を学習できるように配慮しました。

i. Key expressions (Part 3, Unit 8)

ディベートを行う際に使う有用な表現をまとめました。

5. Introduction

Part 2 の Writing と Part 3 のスピーチ、プレゼンテーション、ディベートへスムーズに移行できるように、基本的な知識をまとめたページです。

6. Expression Workshop

各 Lesson で学習した表現を繰り返し学習し、定着を図る場としました。Exercises 同様、解答を音読させる指示を入れています。Part 2 以降では、推敲、プレゼンテーション、ミ

ニディベートの実践をそれぞれ行う場としました。

7. Talking about Talking!

各 Unit 末に、英語表現のポイントをまとめたコラムを設けました。

8. Great Speech Archives

本課のオプションとして、名スピーチを鑑賞するコーナーを設けました。本物になりきってスピーチをすることもできます。

9. Appendices

・ Target 日本語訳例&Expression Park

各 Lesson の Target の日本語訳例と、表現活動で活用できる補充表現集を設け、生徒が自ら語彙や表現の幅を広げられるようにしました。各 Your Turn には Expression Park へのリンクを設けています。

・ E メール用例集

必要に応じて、生徒が参照できるようにしました。また授業外の実生活でも役立つ情報となるよう配慮しました。

2. 対照表

図書の内容・構成	学習指導要領の内容						箇所	配当時間
	第2款		第3款 1		第3款 2, 3, 4	第4款		
	(1)	(2)	使用場面	働き				
Bridge Lesson 1~3					2, 3		pp.6-10	3
Lesson 1	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.12-13	2
Lesson 2	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.14-15	2
Lesson 3	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.16-17	2
Lesson 4	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b, c	c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.18-19	2
Expression Workshop 1					2, 3		pp.20-21	2
Lesson 5	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.24-25	2
Lesson 6	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	b	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.26-27	2
Lesson 7	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b, c	a, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.28-29	2
Lesson 8	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c,	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.30-31	2
Expression Workshop 2					2, 3		pp.32-33	2
Lesson 9	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.36-37	2
Lesson 10	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.38-39	2
Lesson 11	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.40-41	2
Lesson 12	ア,イ,ウ	イ,エ	a, b	c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.42-43	2
Expression Workshop 3					2, 3		pp.44-45	2
Introduction to Paragraph & Essay Writing					2, 3		pp.48-49	1
Lesson 13	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.50-53	4
Lesson 14	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.54-57	4
Lesson 15	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.60-63	4
Lesson 16	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.64-67	4
Lesson 17	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.70-73	4
Lesson 18	イ,ウ	イ,エ	a, b	a, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.74-77	4
Expression Workshop 4					2, 3		pp.78-79	2
Introduction to Speeches & Presentations					2, 3		pp.82-83	1
Lesson 19	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, b, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.84-87	4
Lesson 20	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, b, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.88-91	4
Expression Workshop 5					2, 3		pp.92-93	2
Introduction to Debate Lessons					2, 3		pp.96-97	1
Debate Lesson 1	ア,イ,ウ,エ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.98-99	4
Debate Lesson 2	ア,イ,ウ,エ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.100-101	4
Debate Lesson 3	ア,イ,ウ,エ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.102-103	4
Debate Lesson 4	ア,イ,ウ,エ	ア,イ,ウ,エ	a, b	a, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.104-105	4
Expression Workshop 6					2, 3		pp.106-107	2
Great Speech Archive 1							pp.110-113	2
Great Speech Archive 2							pp.114-118	2
Evaluation Checklist							後見返し④	0
Writing Checklist							後見返し⑤	0
Speech & Presentation Checklist							後見返し⑥	0
合計94時間								